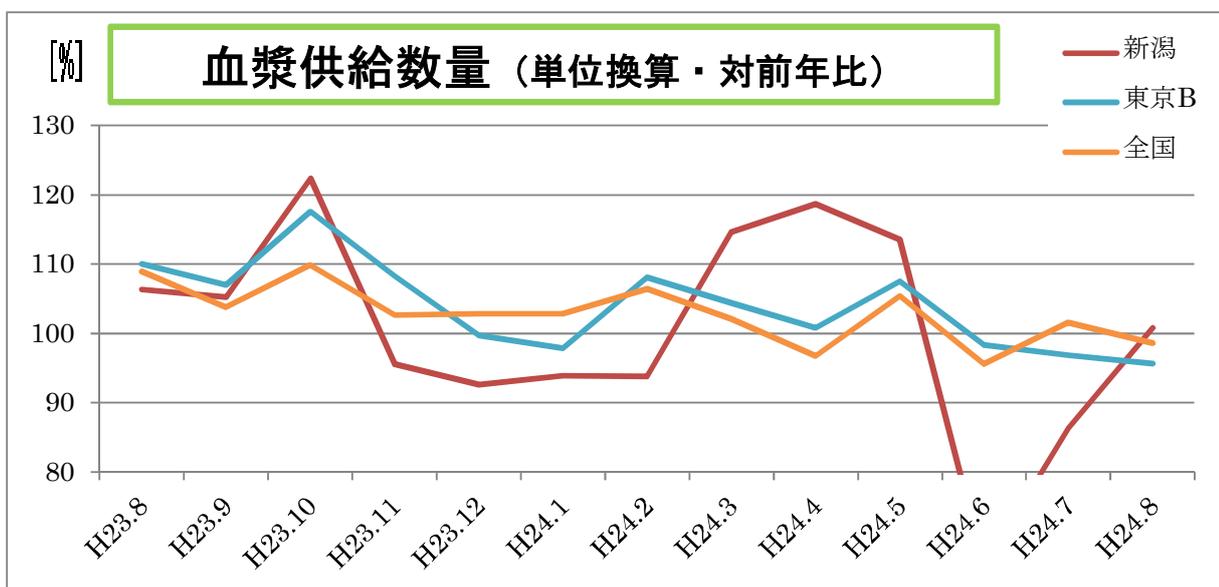
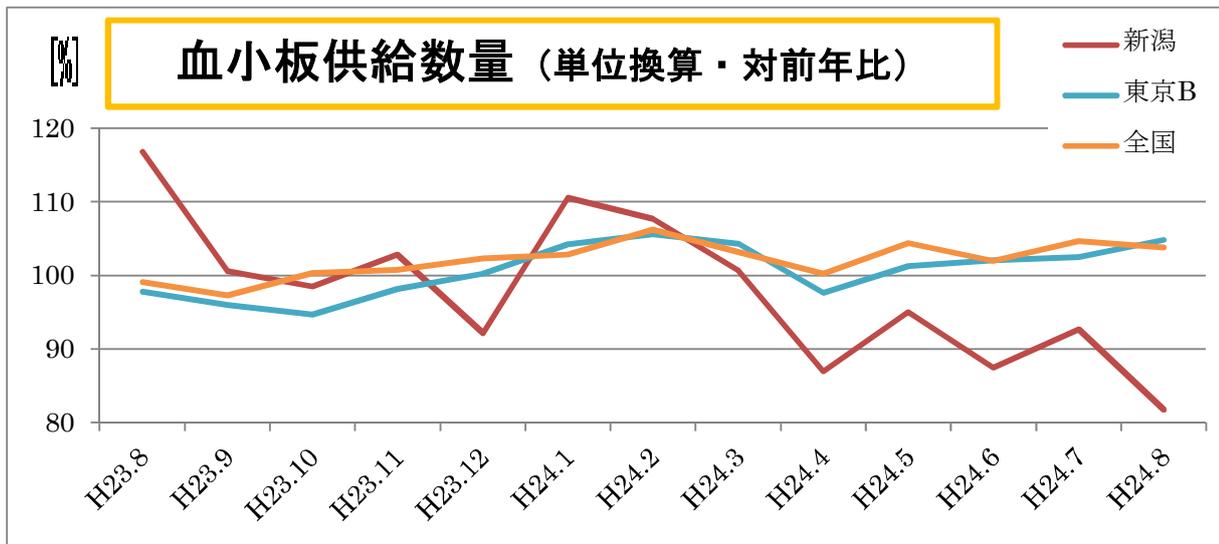
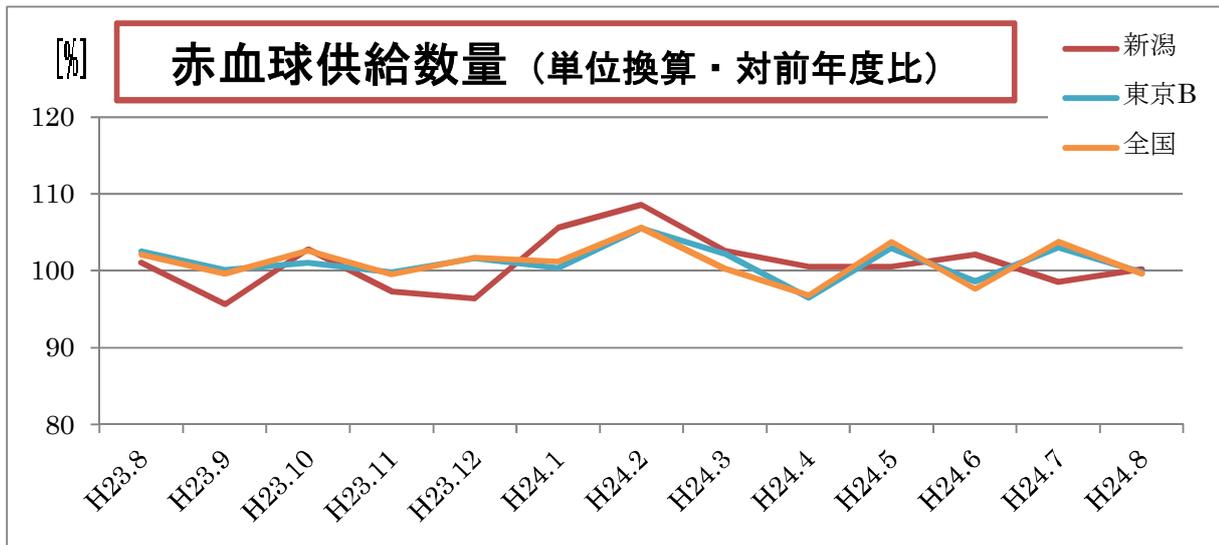
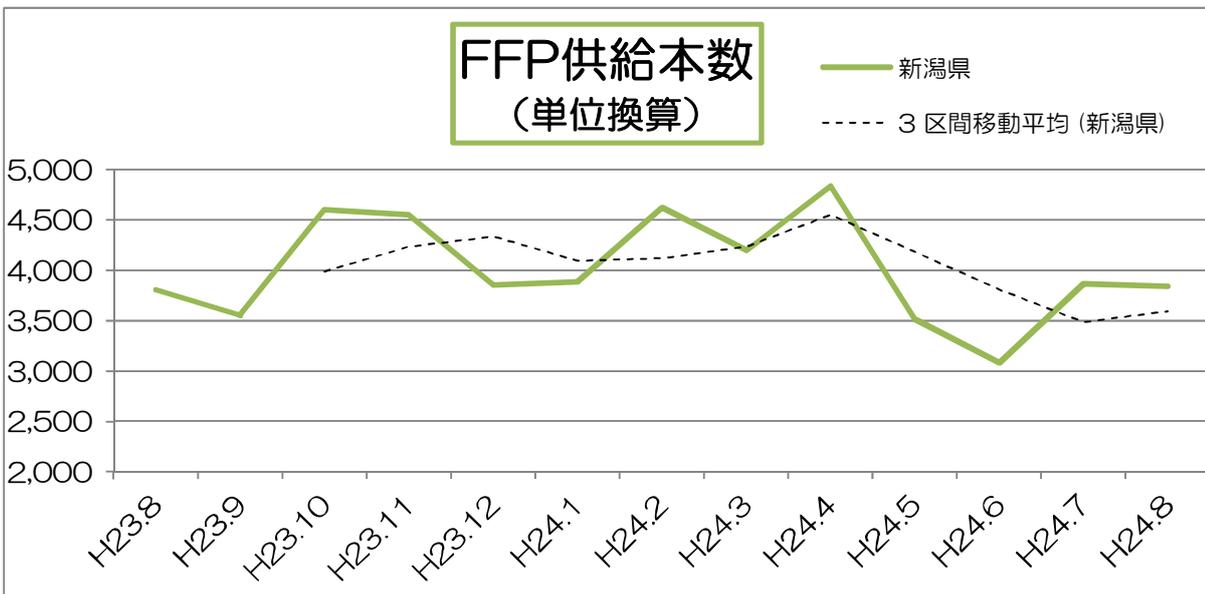
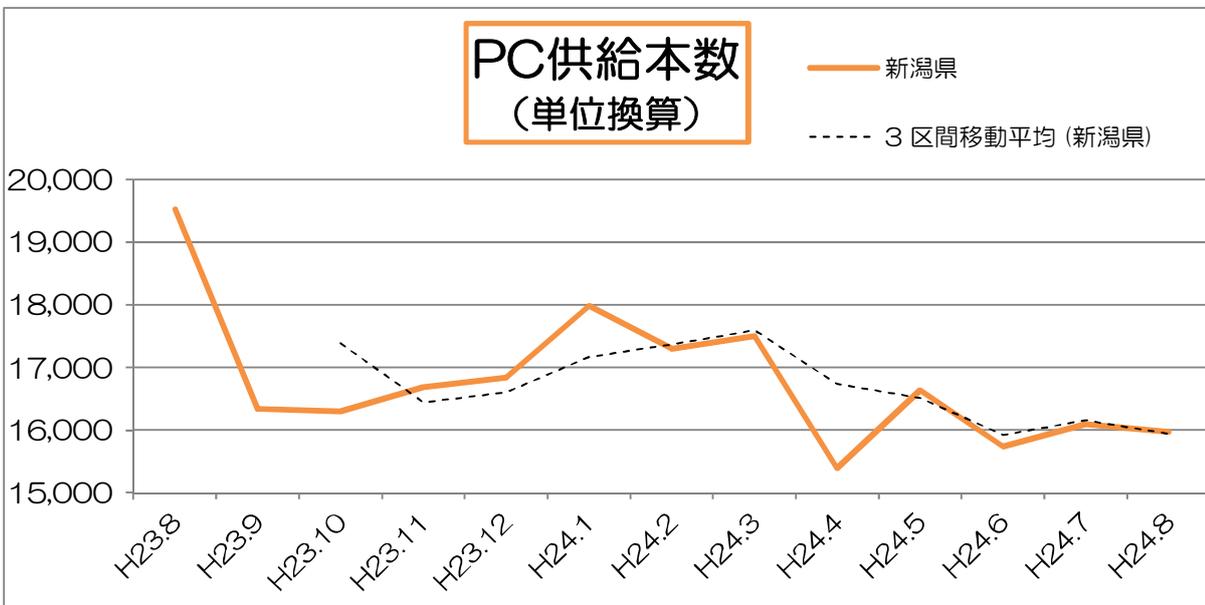
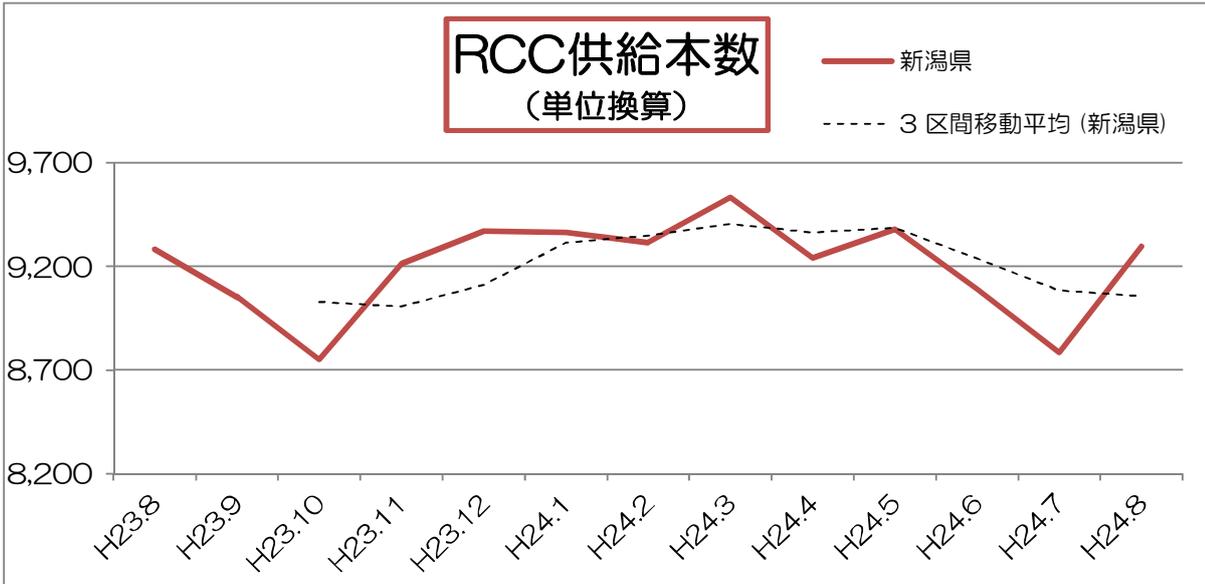


* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。





H24 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

◆8 月の特徴： アルブミンの使用量が減少傾向。A 施設が 1 月と比べて 30%ダウン。

赤血球の廃棄量は 7 月に比べ減少したが、血漿及び自己血の廃棄量は増加した。血漿製剤は使用量に対し廃棄量が多いため、2 月よりも廃棄率が高くなっている。

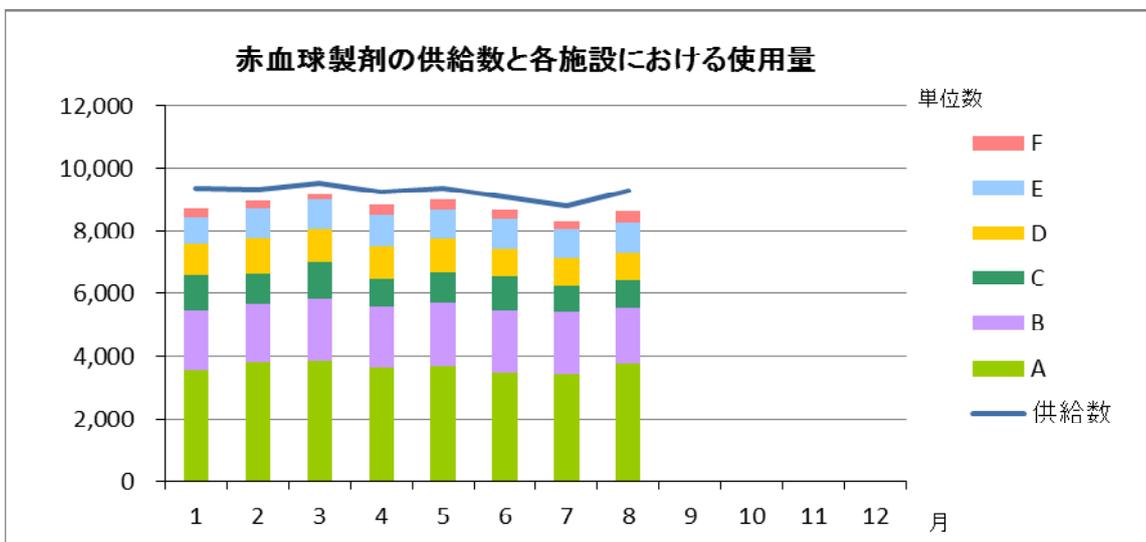
施設規模(一般病床数による)	施設数	病床数	
A	500床以上	6	3,558
B	400～499床	5	2,135
C	300～399床	7	2,273
D	200～299床	10	2,513
E	100～199床	23	3,595
F	0～99床	31	1,646
計		82	15,720

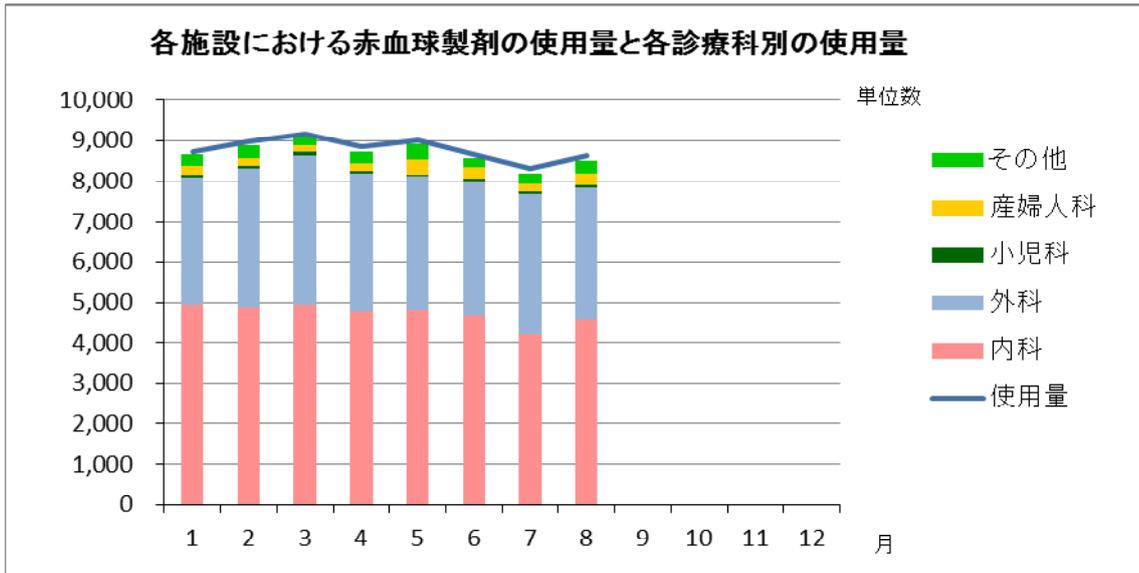
○赤血球製剤

赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	3,754	1,800	1,420	66	224	244	3,754	100.0
B	1,776	959	795	0	20	2	1,776	100.0
C	884	562	290	0	18	14	884	100.0
D	875	459	362	0	12	42	875	100.0
E	983	503	322	0	0	14	839	85.4
F	376	278	98	0	0	0	376	100.0



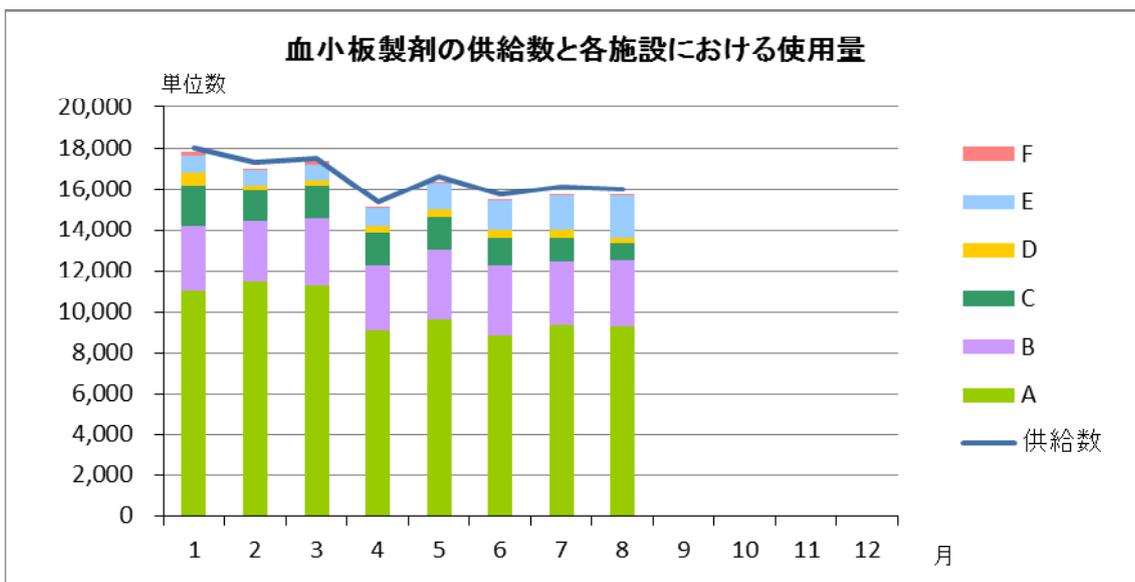


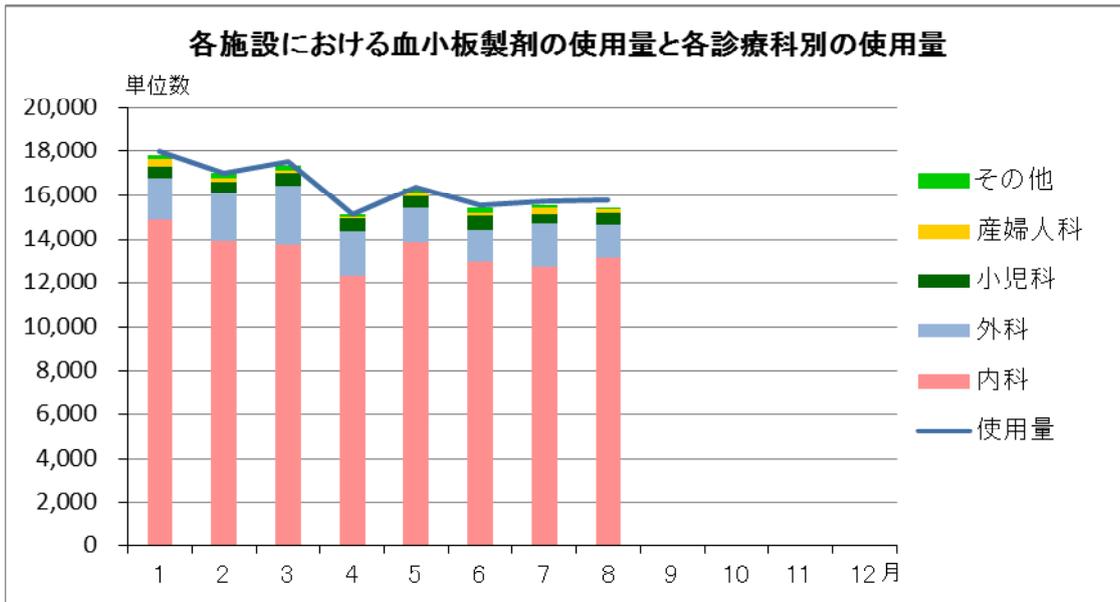
○血小板製剤

血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	9,235	7,665	810	500	160	100	9,235	100.0
B	3,280	2,795	485	0	0	0	3,280	100.0
C	775	725	50	0	0	0	775	100.0
D	290	175	115	0	0	0	290	100.0
E	2,100	1,695	80	0	10	0	1,785	85.0
F	70	70	0	0	0	0	70	100.0



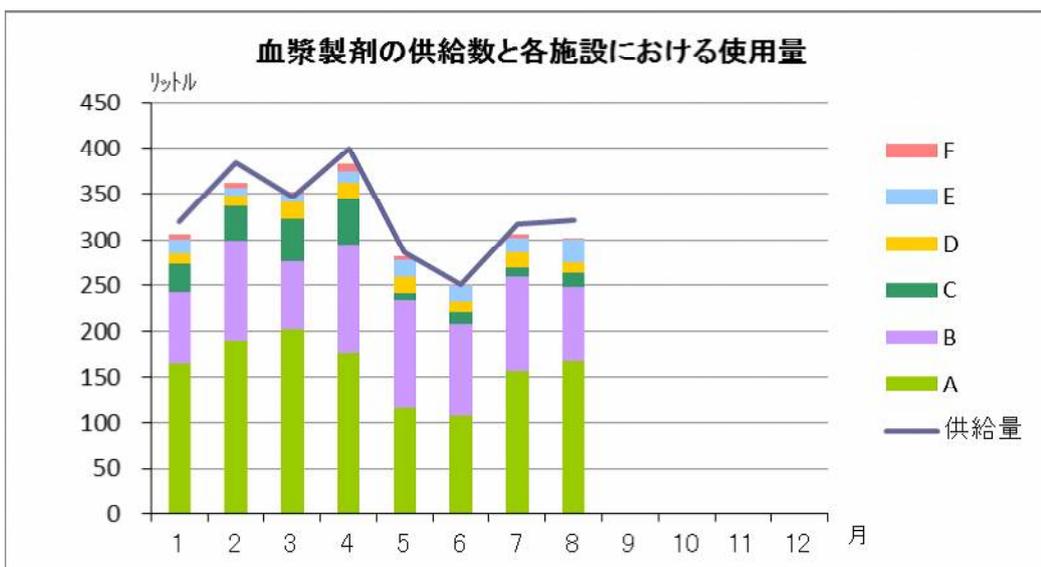


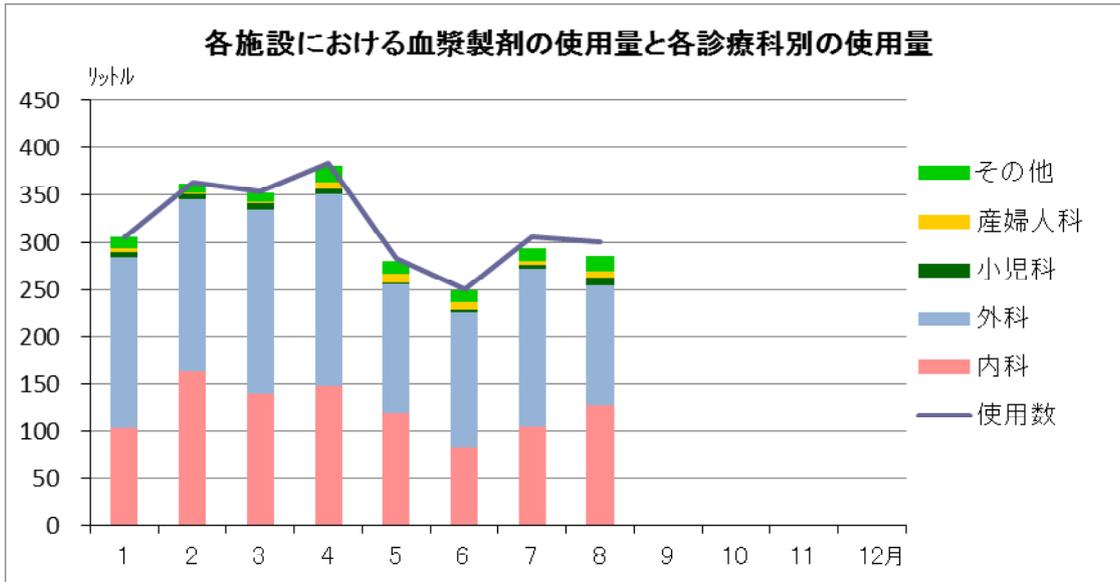
○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A	167.6	81.8	61.1	7.3	5.0	12.4	167.6	100.0
B	80.5	38.3	40.5	0.0	1.7	0.0	80.5	100.0
C	15.2	4.1	10.0	0.0	0.2	1.0	15.2	100.0
D	12.4	1.1	7.9	0.0	0.0	3.4	12.4	100.0
E	25.2	0.9	8.1	0.0	0.0	0.0	9.0	35.6
F	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	100.0



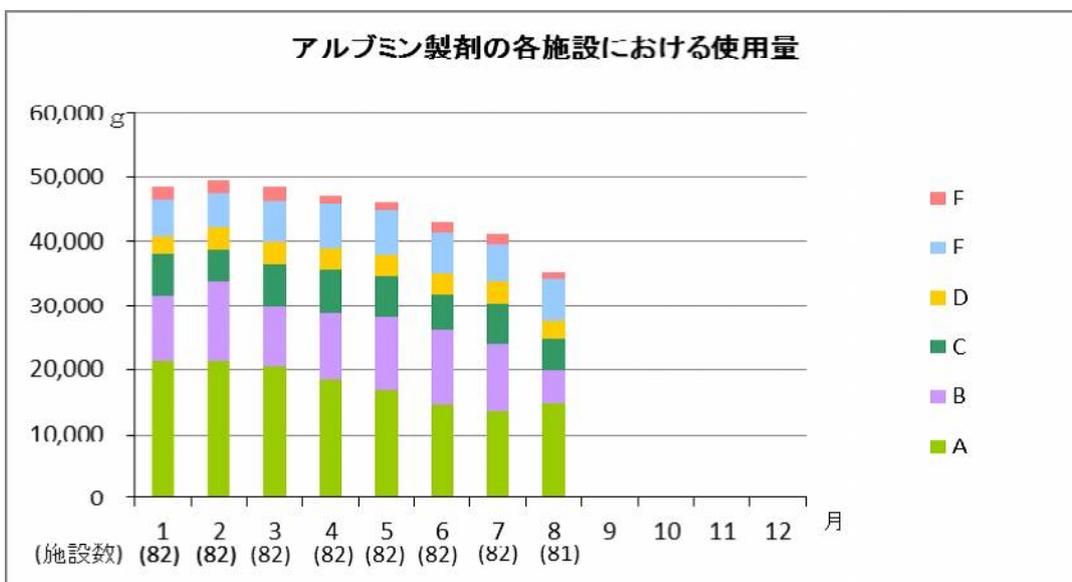


○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- * 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- * 輸血用血液製剤と異なり、全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみを表示
- * () 内はアルブミン製剤を使用した施設数と、使用量の入力がされた施設数を表したのもの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					計	全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
A (6/6)	14,720.0	2,132.5	3,487.5	42.5	442.5	12.5	6,117.5	41.6
B (4/5)	5,162.5	2,650.0	2,512.5	0.0	0.0	0.0	5,162.5	100.0
C (7/7)	5,020.5	3,896.5	1,086.5	0.0	0.0	37.5	5,020.5	100.0
D (10/10)	2,847.5	1,323.3	836.7	50.0	0.0	0.0	2,210.0	77.6
E (18/18)	6,611.0	2,680.0	906.0	37.5	0.0	0.0	3,623.5	54.8
F (12/12)	980.0	825.0	92.5	0.0	0.0	0.0	917.5	93.6

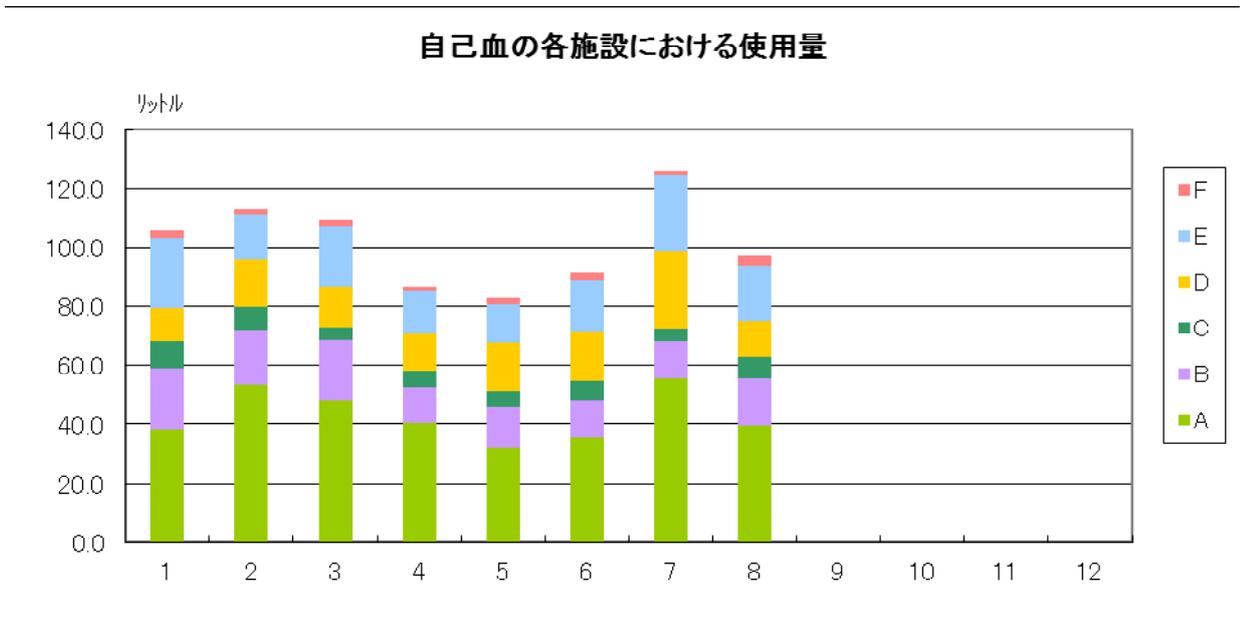


○自己血

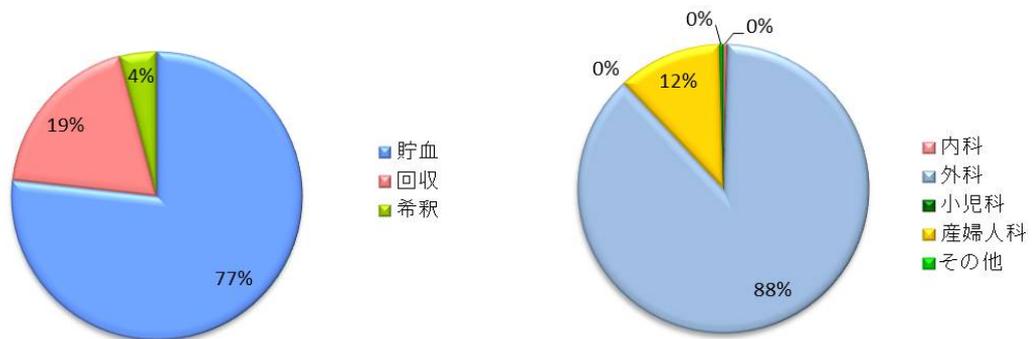
自己血の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別							全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計		
A	26.7	8.6	4.0	39.3	0.4	30.8	0.0	7.7	0.4	39.3	100.0	
B	12.8	3.2	0.0	16.0	0.0	13.2	0.0	2.8	0.0	16.0	100.0	
C	7.4	0.0	0.0	7.4	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	7.4	100.0	
D	5.6	6.7	0.0	12.3	0.0	12.3	0.0	0.0	0.0	12.3	100.0	
E	18.8	0.0	0.0	18.8	0.0	15.6	0.0	0.4	0.0	16.0	85.1	
F	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	100.0	
計	74.5	18.6	4.0	97.0	0.4	82.6	0.0	10.9	0.4	94.2	97.1	



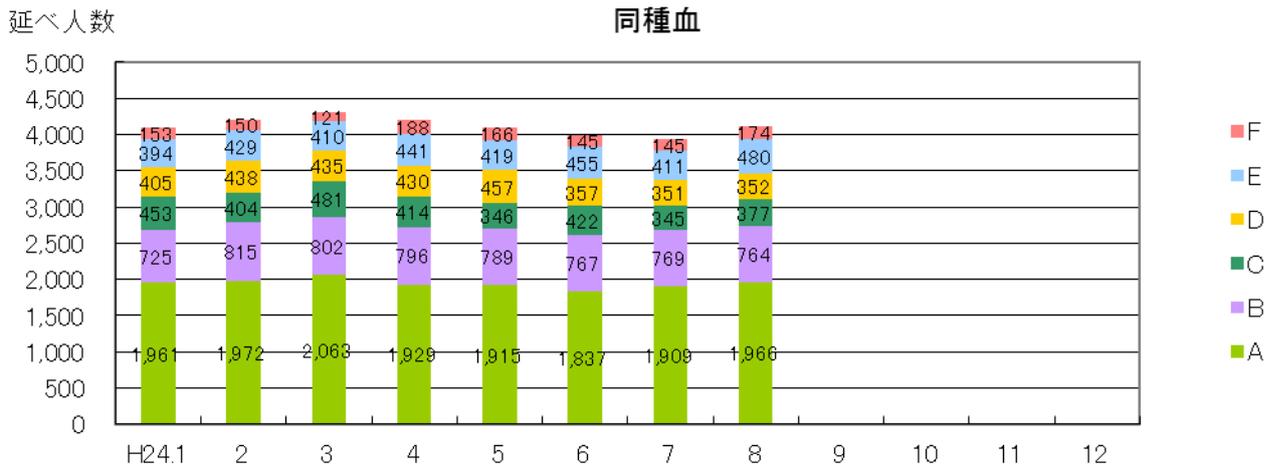
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

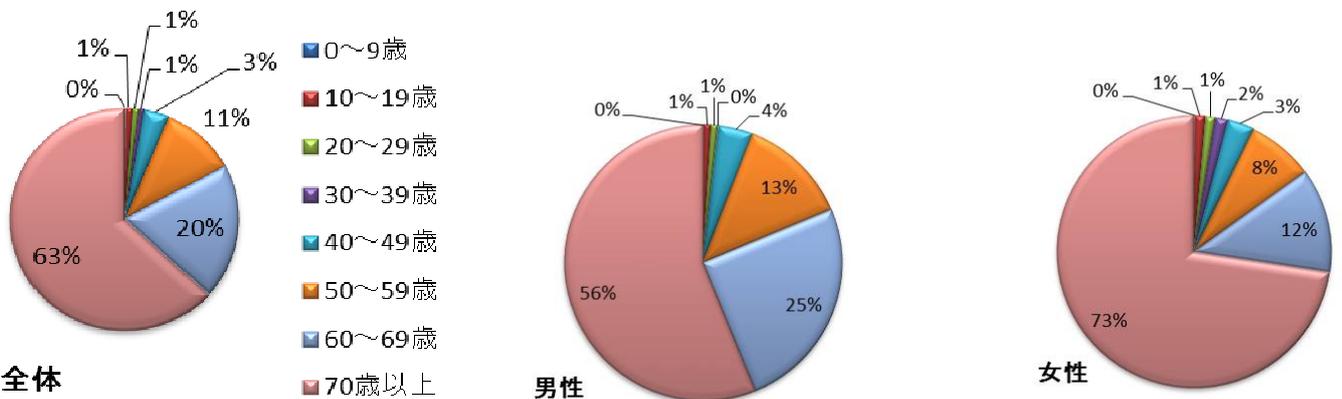
8月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	1,966	764	377	352	480	174	4,113
1床あたり	0.55	0.36	0.17	0.14	0.13	0.11	0.26
自己血	79	23	19	26	30	7	184
アルブミン	520	247	262	121	143	44	1,337

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】（データ提出施設分のみ）

8月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	2	11	11	2	57	184	359	801	1,427
女	1	13	12	16	34	85	132	777	1,070
計	3	24	23	18	91	269	491	1,578	2,497

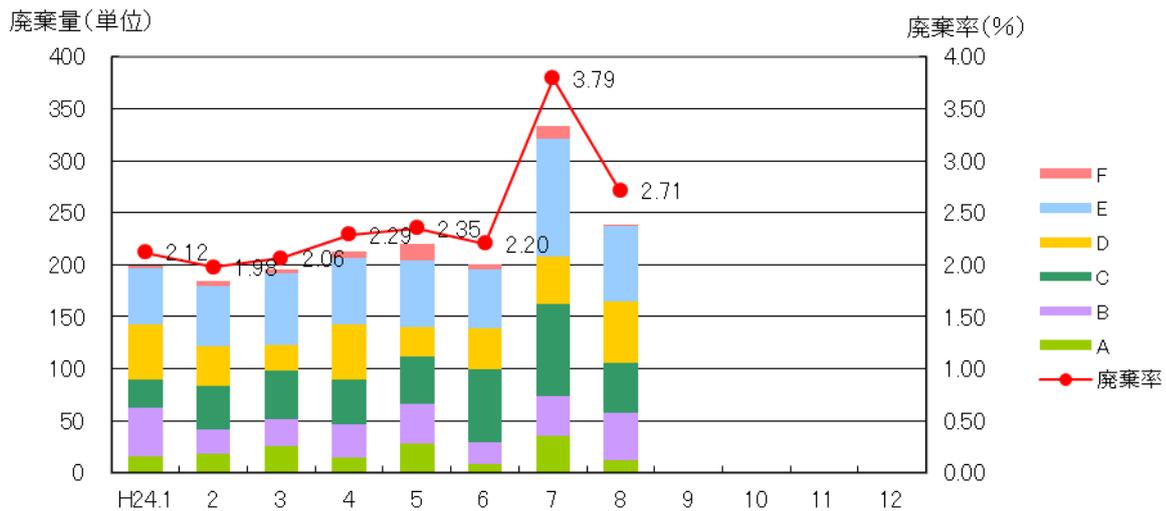


○血液製剤及び自己血の廃棄率

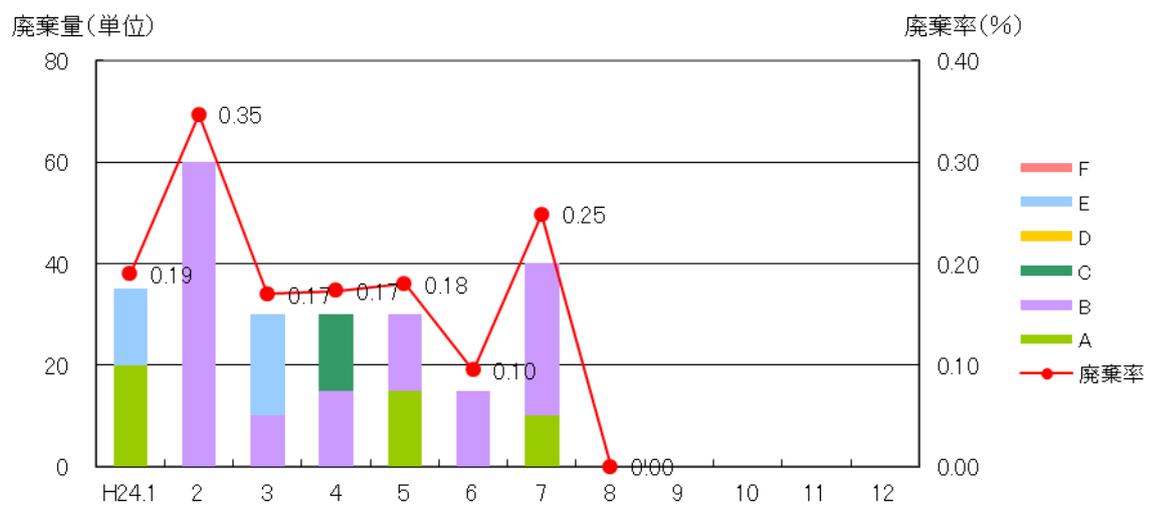
8月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	12	46	47	60	72	1	238
血小板製剤(単位)	0	0	0	0	0	0	0
血漿製剤(単位)	36.5	13.5	33.0	5.0	43.5	0.0	131.5
自己血(リットル)	8.4	0.6	0.8	0.0	0.4	0.0	10.2

※ 血漿製剤の単位換算は、FFP-LR-1 は 1.5、FFP-LR-2 は 3、FFP-LR-Ap は 5 を本数に乗じたもの。

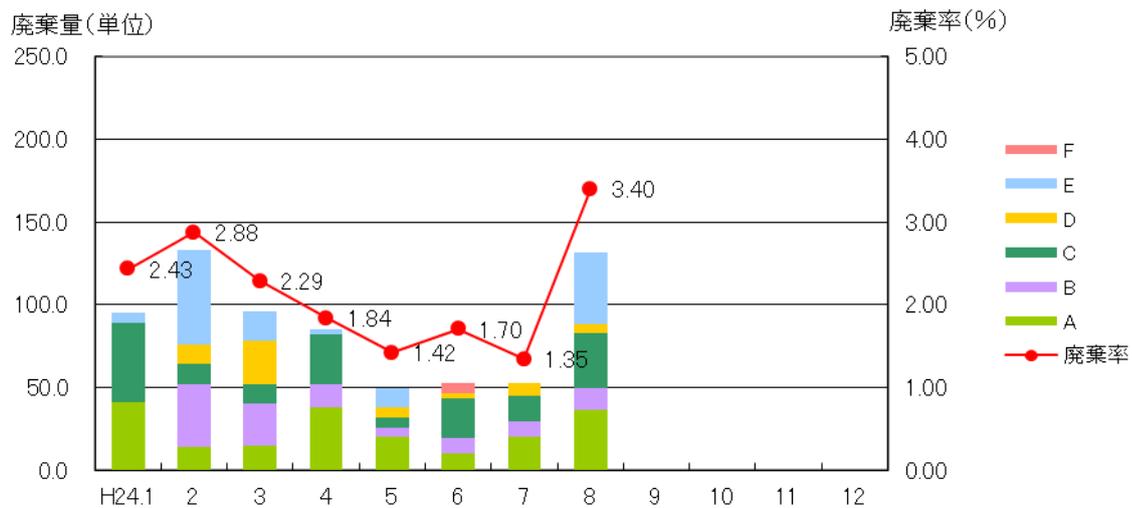
赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



血小板製剤の廃棄量と廃棄率



血漿製剤の廃棄量と廃棄率



自己血の廃棄量

